

だい じ みやこのじょうしこくさいかすいしん
第2次都 城市国際化推進プラン

(2018-2027)

ダイジェスト^{ばん}版

にほんごばん
【やさしい日本語版】



世界^{せかい}を
ぐっと
近く^{ちか}に!



みやざきけんみやこのじょうし
宮崎県都 城市

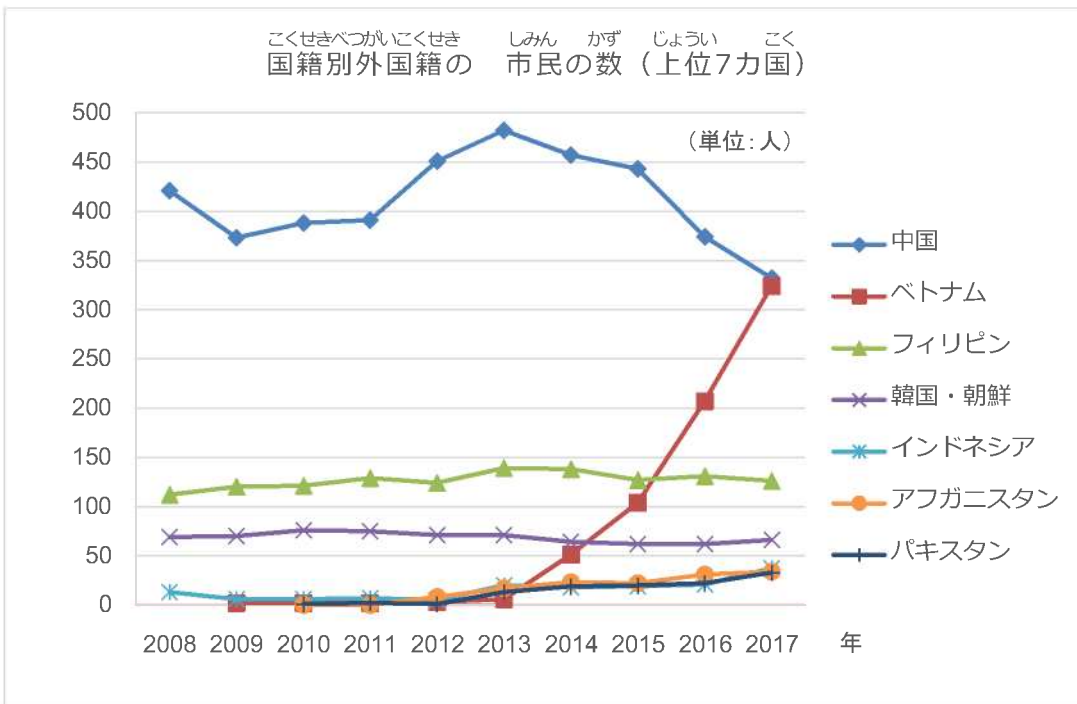
そうごうせいまくぶ 国際化推進室
総合政策部

E-mail intl@city.miyakonojo.miyazaki.jp

1. 都城市の状況

外国の人が、どんどん増えています。いろいろな国籍の人が住んでいます。

外国の人の中で、一番多いのは、技能実習生です。



2. これまで ^{こくさいか}国際化のために ^{してきたこと}してきたこと

- (1) ^{がいこくじんしみん}外国人市民も ^{くらしやすい}くらしやすい ^{しゃかい}社会にするのための ^{じぎょう}事業を ^{おこな}行いました。



^{せいかつあんぜん}生活安全の ^{くわんじやうかい}勉強会 (2013～)



^{にほんご}日本語れんしゅう会 (2012～)

- (2) ^{ゆうこうこうりゅうとし}友好交流都市 (^{ちゅうごくじゅうけいしんく}中国重慶市江津区・ ^{こく}モンゴル国ウランバートル市) など ^{がいこく}外国と ^{こうりゅう}交流しました。



オーストラリアの ^{ちゅうがくせい}中学生との ^{こうりゅう}交流(2016～)



2020 ^{とうきょう}東京オリンピック・パラリンピック ^{きょうぎたいかい}競技大会ホストタウン ^{じぎょう}事業(2017～)



^{しみんこうりゅうだん}市民交流団 ^{ほうちん}モンゴル訪問訪問(2017～)



^{たいわん}台湾で ^{みやこのじょうし}都城市を P R(2016～)

3. ^{みやこのじょうし}都城市を ^{こんなまちにしたい!}こんなまちにしたい!

^{こくせき}国籍・ ^{じんしゆ}人種に ^{かんけい}関係なく ^{えがお}みんなが笑顔で過ごせる ^{まち}まち

4. 国際化のために こういうことを します

1 国際感覚が 豊かな人を 増やします (目標) 外国人を 身近に感じる 日本人の市民の割合 (2017年) 28% → (2022年) 33%	
(1) 市民の国際理解を進めます	① 国際化に関する講座を実施します ② グローバルな視点を養うための研修会をします
(2) 小学校 や 中学校 で 国際化に関する 教育をします	① 国際交流員 (CIR) が学校で国際理解講座を実施します ② 外国語指導助手 (ALT) が英語の授業を支援します ③ 外国人児童生徒を学校で支援します
2 市民が 国際交流と 国際協力をする機会を 増やします (目標) 友好交流都市について 知っている日本人の 市民の割合 (2017年) 46% → (2022年) 53%	
(3) 国際交流しやすい 仕組みを つくります	① 外国人と日本人が集まる場所をつくります ② 国際交流に 関係する人の ネットワークをつくります
(4) 友好交流都市との交流を 活発にします	① 市民どうしの 交流をします ② 経済的 または 文化的な 交流をします
(5) いろいろな 国際交流を します	① 海外との スポーツや文化での 交流をします ② イベントで 国際協力を できるようにします
3 多文化共生社会を 作ります (目標) 近所の人と 交流をする 外国籍の市民の割合 (2017年) 40% → (2022年) 48%	
(6) 外国人が 安心して 生活 できるようにします	① 外国語や やさしい日本語で 防災の情報を 伝えます。 ② 日本語の 勉強を 手伝います。
(7) 外国人が 地域社会で 活躍する手助けをします	① 活躍している 外国人を ホームページなどで紹介します ② 市の 計画を立てるときに 外国人の意見を 聴きます
4 観光や経済交流を 活発にします (目標) 都 城市に 来る 外国人観光客数 (2017年) 27,871人 → (2022年) 32,900人	
(8) 海外からの 観光客を 増やします	① 観光地の無料Wi-Fiを 増やします。 ② 都 城市の ウェブサイトを 外国語で見られるようにします。
(9) 海外への 輸出を 進めます	① 海外で 売れる 農畜産物を 作ります ② 見本市などに 都 城市の企業が参加するよう 支援します